

教育委員会事務局

一般会計要求総額

35,569,613千円

(対前年度 +8.1%)

< 要求の基本的な考え方 >

幼児教育、義務教育、高等学校教育、特別支援教育、生涯学習を着実に推進する

安心・安全な教育環境をつくるため、施設の耐震補強、改修等の計画的推進を図る

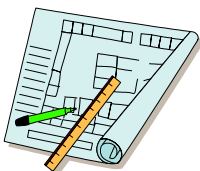
(単位:千円)

未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	一主要事業一	要求額	
	市立札幌大通高等学校整備事業	2,217,630	〔総務部〕
	奨学金支給	78,691	〔学校教育部〕
	幼児教育センター関係事業	18,582	〔学校教育部〕
	特別支援教育支援員活用事業	90,561	〔学校教育部〕
	外国語指導助手関係	258,745	〔学校教育部〕
日常の身近な暮らしの安心確保	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	18,823	〔総務部〕
災害に強い安全なまちの整備	学校施設改築事業	1,745,699	〔総務部〕
	学校施設耐震補強事業	1,164,629	〔総務部〕
その他	小中学校理科少額教材整備事業	20,000	〔総務部〕
	子ども読書活動推進プラン事業	13,000	〔総務部・学校教育部〕
	部活動外部顧問派遣事業	3,600	〔学校教育部〕
	図書館サービス網整備事業	700	〔中央図書館〕
	区民センター図書室環境整備事業	1,700	〔中央図書館〕
	図書館バリアフリー化整備事業	2,200	〔中央図書館〕
	インターネット閲覧サービス事業	1,200	〔中央図書館〕
	中央図書館デジタルライブラリー第2期事業	1,800	〔中央図書館〕

：新規事業 ：レバレッジ事業

安全・安心な学校づくり

学校施設耐震補強事業



市有建築物耐震化緊急5ヵ年計画に基づき、耐震性能が特に低い52校のうち48校について22年度までに耐震補強を行います。21年度は14校について補強工事、20校で実施設計を行います。

なお、52校のうち4校については23年度までに改築を順次進めていきます。

事業費 1,164,629(20年度予算額 1,855,000)

達成目標 H22年度までに48校を整備

H18 3校 H22 48校

21年度効果 +14校

平成22年4月の新校舎供用開始に向けて

市立札幌大通高等学校整備事業



生徒の学習ニーズの多様化に柔軟に対応するため、市立高等学校4校の定時制課程を発展的に再編し、旧大通小学校校舎を暫定活用し20年4月に開校した市立札幌大通高等学校。22年4月の新校舎供用開始を目指して、PFI手法により建設工事等を実施します。なお、新校舎には市立中央幼稚園を併設します。

事業費 2,217,630(20年度予算額 3,400)

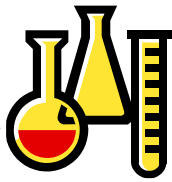
達成目標 H21:新校舎の竣工

● 新学習指導要領に向けた理科教材整備

小中学校理科少額教材整備事業

23年度(小学校)及び24年度(中学校)からの新学習指導要領の施行に向けて、特に授業時間や学習内容が増加する理科において、実験教材の整備を進めていきます。

21年度からは既存の整備事業に加えて、新学習指導要領により新たに必要となる「手回し発電機」、「電流の発熱実験機」などの少額の教材の整備を開始します。



事業費 20,000 (新規)

● 特別支援教育のために

特別支援教育支援員活用事業

障がいのある子どもたちが、障がいの状況や程度に応じた適切な支援を受けることができるよう、学校生活上必要となる支援を行う学びのサポーターの活用体制を整備します。



事業費 90,561(20年度予算額 48,600)

● 支給対象者の拡充



奨学金支給

能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な学生・生徒等に奨学金を支給します。21年度は、第2次札幌新まちづくり計画による増員及び新基金設立に伴う増員により、前年度より300人程度の採用者増を見込んでいます。

事業費 78,691 (20年度予算額 50,001)
達成目標 支給対象者 H18:456人 H22:1,000人
21年度効果 +302人(H20:698人 H21:1,000人)

● 外国語の実践力を育成

外国語指導助手関係

外国語(英語)教育における生徒のコミュニケーション



能力の育成、国際理解教育の推進を目的として、中学校と高等学校に外国語指導助手を配置します。

事業費 258,745(20年度予算額 240,175)

< 主な見直し項目(効果額) >

・学校管理費など一般事務費の削減	87,851
・学校整備費などの削減	70,383
・受益者負担の適正化	20,804

● 子どもの読書を支える

子ども読書活動促進プラン事業



プランに基づき、「学校図書館サポートシステム」「家庭読書本のリサイクル交換市」「学校と地域書店との連携事業」を展開します。学校図書館サポートシステムでは、アドバイザー派遣とボランティア派遣を行い、学校図書館活用の具体的な方策のアドバイスや、レファレンスサービスなどを行い、児童生徒の読書意欲を高めていきます。



また、併せて学校図書館の図書整備率の向上を図るため、図書購入を行います。

事業費 13,000 (新規)

● 幼児教育水準の向上をめざして

幼児教育センター関係

20年4月に開設した札幌市幼児教育センター。21年度はさらに、私立幼稚園との緊密な連携や、特別な教育的支援を必要とする幼児のための「育ちをささえ・つなぐしくみ」の検討を進めます。



事業費 18,582 (20年度予算額 13,000)

● 図書館サービスを更に充実



20年8月に開始したインターネット予約サービスなどに加え、21年度からは更なるサービスの向上を図ります。

図書館サービス網整備事業

札幌市生涯学習センター(ちえりあ)の図書コーナーに端末機を設置し、図書の貸出・予約・返却が可能なサービスポイントを整備します。

区民センター図書室環境整備事業

地震による利用者への被害防止策として、書架の耐震補強整備を行います。

図書館バリアフリー化整備事業

新琴似及び西岡図書館のトイレの洋式化、手すり・ベビーチェア等の設置などを行います。



事業費 4,600 (新規 合計)
達成目標 H24までに中央図書館及び地区図書館7館を整備()
21年度効果 +2館()